



2016年1月29日

各位

会社名 株式会社 資生堂
 代表者名 代表取締役 執行役員社長 兼 CEO
 魚谷 雅彦
 (コード番号 4911 東証第1部)
 問合せ先 コーポレートコミュニケーション本部
 IR 部長 白岩 哲明
 (TEL. 03-3572-5111)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2015年10月30日に公表した2015年12月期 通期連結業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2015年12月期 通期連結業績予想値の修正 (2015年4月1日～2015年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	760,000	30,000	30,000	13,000	32.58
今回発表予想(B)	763,000	37,500	37,500	23,000	57.64
増減額(B-A)	3,000	7,500	7,500	10,000	
増減率(%)	0.4	25.0	25.0	76.9	
(ご参考)前期実績 (2015年3月期)	777,687	27,613	29,239	33,668	84.44
(ご参考)前期実績 (2015年3月期) (調整後)	677,457	21,234	22,814	27,523	69.04

(注) 2015年3月期(調整後)の金額は、当社ならびに3月決算であった子会社の前期業績を9カ月(2014年4月1日～2014年12月31日)の期間に合わせて表示しています。

2. 修正の理由

2015年12月期 通期連結業績は、売上高については、ブランドのイノベーション効果に加え、引き続きインバウンド需要を獲得した日本事業が好調であったことから、前回発表を上回る見込みです。利益については、営業利益、経常利益は売上増による差益増、中高価格帯の売上伸長によるプロダクトミックスの好転、日本・海外の全エリアで積極的にマーケティング投資をすると同時に費用を効率的に運用してきたこと、コスト構造改革が計画を上回ったことなどから、前回発表を大きく上回る見込みです。また、親会社株主に帰属する当期純利益は、上述の理由に加え、未実現利益消去に係る税効果の影響などにより税金費用が好転し、前回発表を上回る見込みです。

3. 配当予想

2015年12月期の期末配当予想の変更はありません。当社の1株当たり年間配当金は、支払済みの中間配当金10円に2016年3月下旬に支払予定の期末配当金10円を加え、合計20円となる予定です。

(注)上記の業績予想は、当社が現在入手している情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上